

製品についてのお問い合わせは

お客様相談室 ☎0120-308168

受付時間：祝日を除く月～金の 9:15～17:00

までご連絡ください。

HFCプレステージジャパン合同会社 〒107-0061 東京都港区北青山3-3-5
Made in Thailand

ウエラトーン ツープラスワン M ミルキー

医薬部外品



- ご使用の際は必ず最後までよく読んで正しくお使いください。
- ヘアカラーはまれに重いアレルギー反応をおこすことがあります。
- ご使用の際は毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。
- 今までにヘアカラーでかぶれたことのある方は、絶対に使用しないでください。

使用上の注意

1. 次の方は使用しないでください

- ① 今までに本品に限らずヘアカラーでかぶれたことのある方
- ② 染毛中または直後に、じんま疹(かゆみ、発疹、発赤)あるいは気分の悪さ(息苦しさ、めまい等)を経験したことのある方
- ③ 皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の結果、皮膚に異常を感じた方
- ④ 頭皮あるいは皮膚が過敏な状態になっている方(病中、病後の回復期、生理時、妊娠中等)
- ⑤ 頭、顔、首筋に、はれもの、傷、皮膚病がある方
- ⑥ 腎臓病、血液疾患等の既往症がある方
- ⑦ 体調不良の症状が持続する方(微熱、倦怠感、動悸、息切れ、紫斑、出血しやすい、月経等の出血が止まりにくい等)

2. 使用前のご注意

- ① 染毛の2日前(48時間前)には次の手順に従って毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。パッチテストは、染毛剤にかぶれる体質であるかどうかを調べるテストです。テスト部位の観察はテスト液塗布後30分位および48時間後の2回行います。過去に何回も異常なく染毛していた方でも、体質の変化によりかぶれるようになる場合もありますので、毎回必ず行ってください。
 - (a) 使用する薬液を使用法に定められた割合で混合し、テスト液を数滴つくります。
 - (b) テスト液ができましたら、腕の内側に10円硬貨大にうすく塗り、自然に乾燥させてください(塗った部分が30分位しても乾かない場合は、ティッシュペーパー等で軽く拭き取ってください)。
 - (c) そのまま触れずに48時間放置します(時間を必ず守ってください)。テスト液を塗ったところは絆創膏等で覆わないでください。
 - (d) 塗布部に発疹、発赤、かゆみ、水疱、刺激等の皮膚の異常があった場合には、手等でこすらないで直ちに洗い落とし、染毛しないでください。途中、48時間以前であっても、同様の皮膚の異常を感じた場合には、直ちにテストを中止し、テスト液を洗い落として染毛しないでください。
 - (e) 48時間経過後、異常がなければ染毛してください。
- ② 頭髮以外には使用しないでください。本品は頭髮用の製品です。
- ③ 眉毛、まつ毛に使用しないでください。薬液が目に入るおそれがあります。
- ④ 顔そり直後は染毛しないでください。皮膚が細かく傷ついているおそれがあり、刺激等を受けやすくなります。
- ⑤ 染毛の前後1週間はパーマネントウェーブをかけないでください。髪を傷めたり、色落ちしたりすることがあります。
- ④ 染毛中に入浴したり、染める前に髪をぬらしたりしないでください。汗やしずく等で薬液が目に入るおそれがあります。
- ⑤ 薬液が顔、首筋等につかないようにしてください。薬液がついたときは、直ちに水で洗い落とししてください。
- ⑥ 薬液や洗髪時の洗い液が目に入らないようにしてください。目に入ると激しい痛みを生じたり、場合によっては目が損傷(角膜の炎症等)を受けたりすることがあります。万一、目に入ったときは絶対にこすらないで、直ちに水またはぬるま湯で15分以上よく洗い流し、すぐに眼科医の診療を受けてください。
- ⑦ 染毛中に発疹、発赤、はれ、かゆみ、強い刺激等の皮膚の異常やじんま疹、息苦しさ、めまい等の症状が現れた場合には、直ちに薬液をよく洗い流し、すぐに医師の診療を受けてください。
- ⑧ 染毛後に何らかの異常を感じた場合には、必ず医師の診療を受けてください。

4. 取り扱い上のご注意

- ① 混合した薬液の残りは効果がなくなります。必ず洗い流して捨ててください。
- ② 混合した薬液は保存しないでください。ガスが発生して容器が破裂するおそれがあり危険です。

5. 保管上のご注意

- ① 幼児の手の届かない所に保管してください。誤って飲んだり食べたりすると危険です。
- ② 高温や直射日光をさけて保管してください。

6. ヘアカラーによるアレルギーのリスクについて

ヘアカラーによる「かぶれ」は、頭・髪の生え際・顔・首筋などに、かゆみ・はれ・赤み・ブツブツなどの症状がでることをいい、かゆみしか感じないこともあります。かぶれと気づかず、又はかぶれの症状が軽いために使用を繰り返したり、症状が治まった後に再使用したりすると、次第に症状が重くなり、まれに「アナフィラキシー」という重篤なアレルギー反応(全身じんま疹、呼吸困難など)等が突然起こることがあり危険です。このようなかぶれの症状を経験された方は、絶対に使用しないでください。

3. 使用時のご注意

- ① 薬液は使用直前に混合し、直ちに使用してください。
- ② 換気の良いところで使用してください。
- ③ 必ず添付の手袋を着用してください。

皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の手順

皮膚アレルギー試験(パッチテスト)は、ヘアカラーにかぶれる体質であるかどうかを調べるテストです。食品や医薬品等でアレルギー反応をおこす人がいるように、まれにヘアカラーでアレルギー反応をおこす人がいます。また、他のアレルギーと同様に、過去に何回も染毛した方でも、体質の変化等により、かぶれるようになる場合もあります。染毛のたびに毎回必ず皮膚アレルギー試験を行ってください。

染毛の2日前(48時間前)には次の手順に従って
毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。

準備するもの

箱の中に入っているもの

ご自分で用意いただくもの

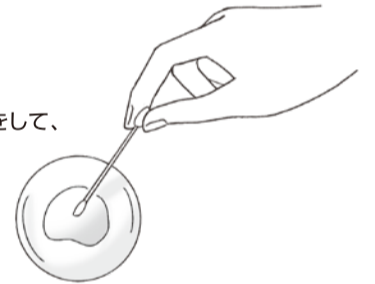


1 テスト液を少量つくります

A剤とB剤を1対1の割合で出し、エッセンスを1～2滴加えて混ぜ、テスト液をつくります。

1. A剤のキャップをはずし、キャップ頭部の突起でチューブの口を開け、ごく少量を小皿に出します。
2. B剤を、A剤と同じ量だけ出します。
3. エッセンスを1～2滴加えます。
4. 綿棒でよく混ぜ合わせます。

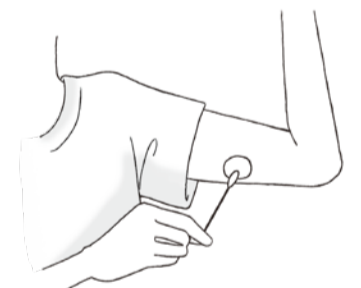
- ※ A剤、B剤、エッセンスともによくキャップをして、しっかりと締めてください。
- ※ パッチテストに必要な分量だけを、小皿で混合してください。



2 テスト液をぬります

テスト液ができましたら、腕の内側に綿棒で10円硬貨大にうすく塗り、自然に乾燥させます。

- ※ 塗った部分が30分位しても乾かない場合は、ティッシュペーパー等で軽く拭き取ってください。



3 48時間放置します

そのまま触れずに48時間放置します。

- ※ 放置時間は必ず守ってください。
- ※ テスト液を塗ったところは絆創膏等で覆わないでください。

4 テスト部位を確認してください

塗布後30分位および48時間後の2回は必ずテスト部位の確認を行ってください。そのとき、塗布部に発疹、発赤、かゆみ、水疱、刺激等の皮膚の異常があった場合には、手等でこすらないで直ちに洗い落とし、染毛はしないでください。途中、48時間以前であっても同様の皮膚の異常を感じた場合には、直ちにテストを中止し、テスト液を洗い落として染毛はしないでください。

5 異常がなければヘアカラーを使用します

48時間経過後、異常がなければ、すぐに染毛をしてください。

皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の結果、万一異常があった場合は皮膚科専門医等の診察を受けてください。また、製品については

HFCプレステージジャパン合同会社

お客様相談室 ☎0120-308168

までご連絡ください。

！
ご注意
ヘアカラー前の
留意点

※特に髪の汚れがひどいときや、整髪料、着色料(カラスプレー等)を多めにつけているときは前日にシャンプーしてください。それ以外の場合はシャンプーの必要はありません。
※メガネ、コンタクトレンズ、イヤリング、ネックレス、ヘアピン等は外してください。※すでに暗く染めている髪を明るく染め直すことは困難です。※金属製のクシ、ヘアピン、ヘアクリップ等は使用しないでください。※乾いた手で添付の手袋をお使いください。濡れていると手が入りにくくなります。

01 準備をします

必要なものの確認

箱の中に入っているもの

- ① A剤(カラーベース)
- ② 直塗りノズル付きB剤(クリームデベロッパー)
- ③ エッセンス
- ④ コーム付きノズルキャップ
- ⑤ 使用説明書 ⑥ 手袋



始める前に

- ※ 「使用上の注意」をお読みになりましたか？
- ※ 皮膚アレルギー試験(パッチテスト)はお済みですか？
- ※ 周囲に新聞紙やビニール等を敷いてください。汚れてもさしつかえない前開きの衣服に着替え、ケープやタオル等をかけてください。(衣類や床、壁等に液がつくと落ちません。)
- ※ 肌に薬液がついて時間がたつと落ちにくくなるので、あらかじめ油性クリームを耳のまわり、額等の髪の生え際にやや広めにつけてください。ただし、クリームが髪につくと、染まりにくくなりますのでご注意ください。



ご自分で用意していただくもの

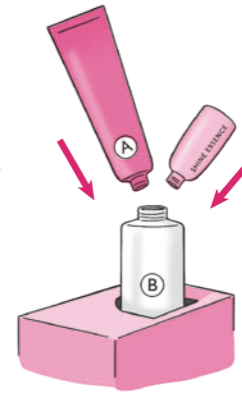
- ① 新聞紙等の敷物
- ② ケープ ③ タオル
- ④ 油性クリーム(額、生え際等に使用)
- ⑤ ティッシュペーパー
- ⑥ 鏡 ⑦ タイマー



02 混合乳液をつくります

カラー混合乳液は
使用直前につくります。

- 1 B剤ボトルの直塗りノズルキャップをはずして、A剤と小さなボトルに入ったエッセンスをそれぞれ全量注ぎます。



- 2 もう一度B剤ボトルに直塗りノズルキャップをしっかりと締めて、上下に30回程度振って液をよく混ぜます。



！
ご注意

- ※ 注いでいる間にボトルが転倒するのを防ぐために、外箱裏面の点線にそって穴をあけ、B剤ボトルを立てられます。
- ※ チューブから出したA剤の色は仕上がりの色ではありません。
- ※ A剤の色が黒っぽくなっていることがありますが、染毛効果に影響はありません。

！
ご注意

- ※ この時、絶対にコーム付きキャップをつけないでください。振った時に液が飛び散ります。
- ※ この時、直塗りノズルの先のチップは取らないでください。振った時に液が飛び散ります。
- ※ 混合乳液はすぐに使用してください。放置しておくと、容器の破損等のおそれがあり、危険です。

03 混合乳液を髪に塗ります

混合乳液をつくってから、20分以内を目安として塗り終えてください。それ以上たつと染毛効果が弱くなります。必ず手袋をはめてください。

初めて染める場合や、何か月か間を置いて染める場合
髪全体を染める場合

- 1 白髪の多い部分から 順に混合乳液を出しながら髪をとかすように塗っていきます。
- 2 髪全体が濡れた状態になるまで、繰り返すとかすように塗ります。
- 3 最後に髪の根元や生え際などを軽く指でなじませます。
- 4 放置します。



- 1 混合乳液の入ったボトルにコーム付きノズルをつけ、それ以上まわらないところまでしっかりと締めてください。
- 2 手袋をはめます。

Point

まずは、コーム付きノズルのついたボトルを逆さに傾けて、混合乳液がコーム部分に集まるようにすると髪に塗りやすくなります。



- 2 髪全体が濡れた状態になるまで、繰り返すとかすように塗ります。



- 3 最後に髪の根元や生え際などを軽く指でなじませます。



- 4 放置します。

※ 太くて硬い髪、および室温が低い場合(15℃以下)は30分放置することをおすすめします。

根元・生え際をしっかり染めたい方には、複数回使えるウエラトーン 2+1 クリームタイプがおすすめです。

髪の根元や生え際の白髪が気になるとき

- 1 混合乳液に直塗りノズルをつけたまま、ノズルの先端のチップをちぎり取り、そのまま気になる部分に置くように塗り、軽く指でなじませます。
- 2 その後、コーム付きノズルに付け替えて、「髪全体を染める場合」の手順にそって髪全体を染めます。



4~6週間ごとに
毛染めをされる場合

- 1 直塗りノズルを付けて、新しく伸びてきた根元の部分だけに混合乳液をつけ、指でなじませます。
- 2 そのまま25分ほど放置します。
- 3 コーム付きノズルに付け替えて、残りの混合乳液を髪全体に塗り、毛先に向かってのばします。さらに5分程放置します。



用途別ノズル



直塗りノズル
混合乳液を作る際のキャップとして。また、髪の根元や生え際への塗布用として。



コーム付きノズル
髪全体へ混合乳液をのぼすノズル。見えにくい後ろ髪にもとかすように簡単に塗布できます。

04 洗い流します

※ 目に入らないように注意してください。
※ 髪が濡れたままになっていると、枕カバー等にふれたとき色移りすることがあります。
※ 洗髪後はドライヤーなどでよく乾かしてください。

放置時間が過ぎたら、すすぎ湯にヘアカラーの色が出なくなるまでよくすすぎ、シャンプーとコンディショナーで仕上げてください。

！
ご注意

- ※ ヘアカラー中に頭皮等に異常を感じた時は、必ずすぐに洗い流してください。
- ※ 肌に混合乳液がついた場合はすぐにティッシュペーパーで拭き取ってください。完全に落ちていなくても、数日で自然に落ちます。
- ※ 肌を強くこすると皮膚をいためる原因となりますのでご注意ください。

残った混合乳液はノズルをはずし、洗い流して捨ててください。

放置しておくと混合乳液から発生するガスの圧力で、容器が破損したり、混合乳液があふれ出るおそれがあります。